

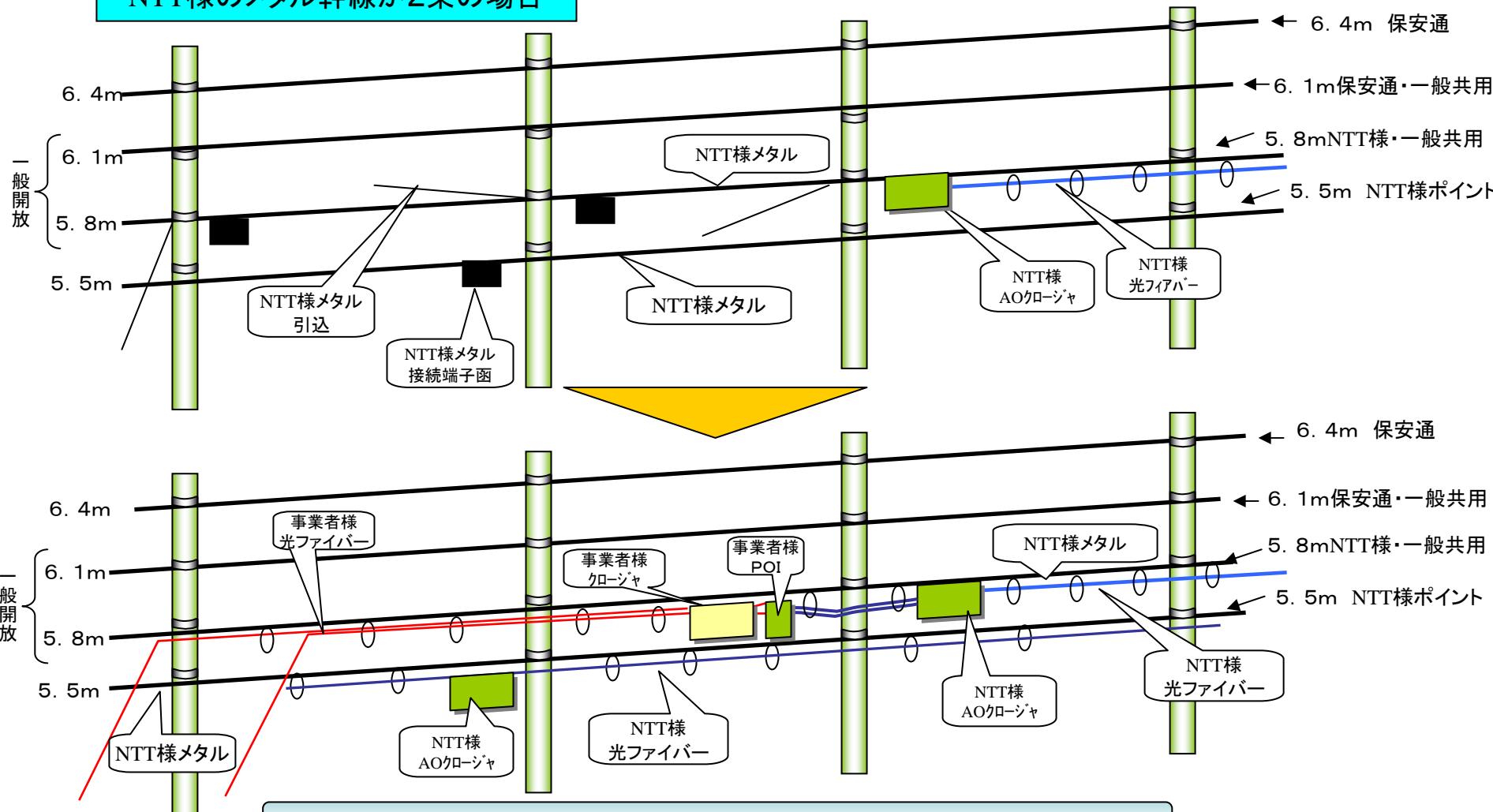
関西電力提出資料

光引込線に係る電柱添架手続きの簡素化等に関する検討会
第2回 検討会資料

平成17年6月6日
関西電力株式会社

- ・電力、NTT様、事業者様それぞれの通信線路の添架ポイント、ポイント数、施設形態には地域により差があります。(電力設備の施設方法の相違など)
- ・光引込線は、切断、接続の困難さから電柱数径間を跨ぐ設備形態となります。
- ・前回の議論を踏まえ、関西地域における光引込線の構築方法についてご提言致します。

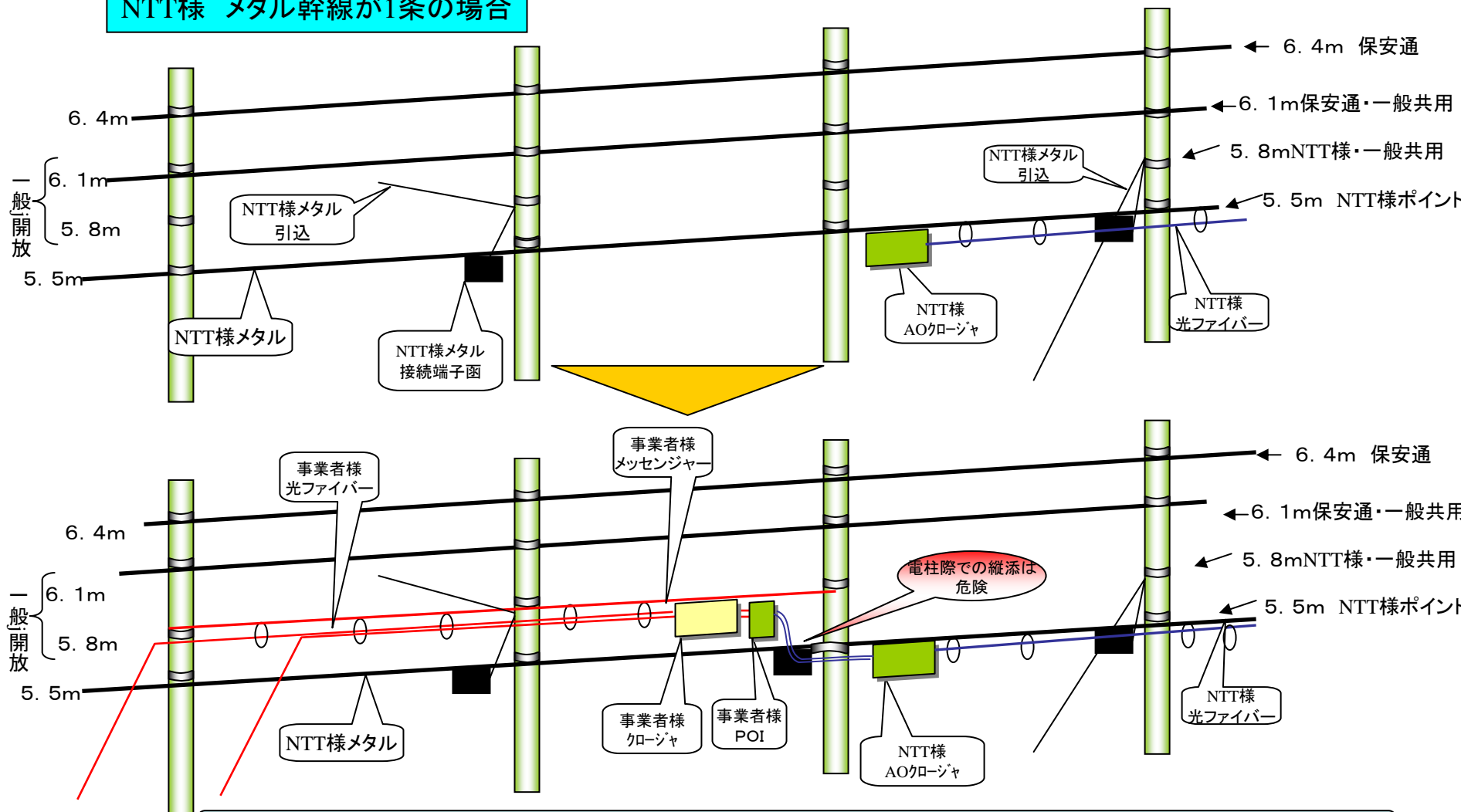
NTT様のメタル幹線が2条の場合



構築方法:NTT様メタル線と一束化

- メリット・デメリット
- ・現行のシェアアクセス設備と同様である。
 - ・吊線、腕金など付帯設備が少なく低コストで構築可能。
 - ・必要により、NTT様と事業者様の光ファイバー構築ポイントの棲み分けも可能。
 - ・ポジション整理され美観上も変化なし。

NTT様 メタル幹線が1条の場合



構築方法: NTT様引込ポイントの縦断方向に事業者様のメッセージャを施設し、光引込線を構築

メリット・デメリット

・NTT様AOクロージャからPOIへの接続は、電柱際には昇降柱時に断芯の危険性大であり、工夫が必要